



もりおかさとこ
森岡聡子議員

重度の要介護状態になって も地域で暮らすために

議員 生活支援コーディネーターと協議体の設置等に向けた取り組みをたずねる。

健康福祉部長 まず協議体設置に向けて、尾道市の「ねこのて手帳」を参考に地域資源を冊子にまとめる。コーディネーターは協議体のメンバーに意見をもらい人選する。

議員 地域の支え合いでは報酬をポイント制にした有償ボランティアが活用できるのではないか。

健康福祉部長 生活支援の面で有償ボランティアは考えられる。ポイント制も今後検討していく。

議員 介護保険を利用する立場からすると、サービスの概要パンフレットがあると便利だと考えるが。



健康福祉部長 今後作成していきたい。

人口流出に 歯止めを

議員 ビジネスの場で求められる知識・技術を身に付け、地元への就職拡大等を図るため、笠岡商業高校では専攻科設置に向け努力していると聞く。市の支援はどうか。

市長 県の所管であるが、若者の市内定着、笠岡の活性化に効果があると考えており、側面的支援策を検討したい。今後とも若者の市内定着の条件整備に取り組む。

議員 篠坂パーキングへのスマートインターチェンジの方向性は。

市長 導入により陶山地区の人口増加や、企業の高速度道路までのアクセスが近くなるなど、大きなメリットがある。早期実現を目指す。



ひのつ みちこ
樋之津倫子議員

介護保険制度の 改善を求めて

議員 昨年8月、介護保険の一部利用者の負担引き上げ、負担軽減制度の上限新設を実施したばかり。食費・部屋代の負担軽減見直しによる再度の負担増は市民にとって耐え難いものである。その影響・実態の把握と対象者の苦痛をどう受けとめているのか。

また、介護予防・日常生活支援総合事業への移行について、新市長の認識・決意を問う。さらに、厚生労働省の審議会等でさらなる介護保険制度改善が検討される中、安心できる介護保険制度への転換を求め市として声を上げるべきではないか。

市長 制度改正は在宅生活者との不公平を是正する観点から実施され、今年8月からは非課税年金である遺族年金や障害年金収入も含めて判定することになった。制度



維持、公平性の面から理解されるよう努める。総合事業では、現行のサービスはこれまでどおり利用できる、市独自で新たにシルバー人材センターによる家事援助サービスを始める。国に対しては、制度改正の動向を注視しつつ、必要に応じ全国市長会を通じて要望していく。

子どもの貧困対策 を求めて

議員 子どもの6人に1人が貧困だと言われている。市の実態を独自に調査し、改善策を立てるべき。特に就学援助対策の改善は必要だ。また、給付型の奨学金制度の創設で子どもたちの学習権を保障すべきでは。

市長 今年度ひとり親家庭を対象にアンケートを実施したので、今後取り組みを充実させていく。新たな奨学金制度も検討している。